

授業科目名・形態	社会調査論 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	中里 操・林 宏二	実務経験の有無	有	開講期	2年前期

【授業の主題】

社会調査の意義と目的及び方法の概要について学習する。また、統計法の概要、社会調査における倫理や個人情報保護や、量的調査の方法及び質的調査の方法について理解することを目的とする。

【到達目標】

1. 社会調査がどのようなものであるかを理解する。統計法の概要、社会調査における倫理や、個人情報の保護について理解する
2. 初歩的な社会調査の企画、実施ができ、専門的な調査報告書を読み込めることを到達目標とする。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 社会福祉と社会調査①（社会福祉士の役割と社会調査、個人情報保護）（中里）
- 第 2 回 社会調査の概要（社会調査の意義と目的、対象）（中里）
- 第 3 回 統計法（統計法の概要）と社会調査における倫理（中里）
- 第 4 回 量的調査の方法①（全数調査と標本調査、横断調査と縦断調査、自計式調査と他計式調査）（中里）
- 第 5 回 量的調査の方法②（調査票の作成）（中里）
- 第 6 回 量的調査の方法③（調査票の配布と回収方法）（中里）
- 第 7 回 量的調査の方法④（データの解析）（中里）
- 第 8 回 量的調査の方法⑤（データの視覚化）（中里）
- 第 9 回 質的調査の方法①（質的調査の特徴と種類、観察法と面接法）（林）
- 第 10 回 質的調査の方法②（調査設計、テーマ設定と先行研究のレビュー）（林）
- 第 11 回 質的調査の方法③（調査対象者選定と調査手続き）（林）
- 第 12 回 質的調査の方法④（調査手法、インタビュー、参与観察、アクションリサーチ）（林）
- 第 13 回 質的調査の方法⑤（質的調査のデータ整理と分析、発表・報告）（林）
- 第 14 回 社会調査の実施にあたっての IT の活用方法（林）
- 第 15 回 社会科学としての社会福祉（林）

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。また、必要に応じてレポートを課す。

【授業準備】

事前に指定した教科書の予習、授業後に教科書とレジюмеを使って復習すること。

【教科書等】

新・社会福祉士養成講座 『社会調査の基礎 <第3版>』 中央法規出版

【参考文献】

適宜、提示する。

【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢 10%、提出レポート 30%、期末試験の成績 60%の総合評価とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

私は、5年間矯正施設で社会福祉士として勤務していた。矯正施設勤務で培われた社会保障・社会福祉制度の活用の仕方、社会ニーズの把握の方法、相談援助の方法を伝えたいと思う。

【学生へのメッセージ】

履修者は、新聞記事や各種調査の結果等を通じて、今私たちの生きている社会がどのような社会なのか、そこにどのような変化が生じているのかについて関心を払う習慣をつけて下さい。